

製品名: ACLY マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81201**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル、ウサギ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC 1:50-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	125kDa

抗原情報

遺伝子名	ACLY
別名	ACL; ATPCL; CLATP
遺伝子 ID	47.0
SwissProt ID	P53396
免疫原	大腸菌で発現したヒト ACLY (AA: 306-502) の精製組み換え断片。

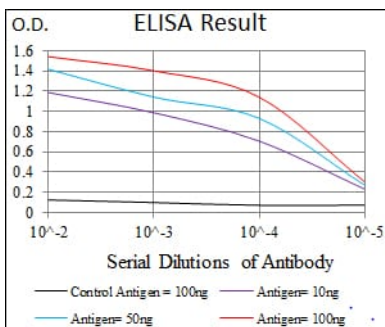
背景

ATP クエン酸リアーゼは、多くの組織において細胞質アセチル CoA の合成を担う主要な酵素です。この酵素は、一見同一のサブユニットからなる四量体（相対分子量約 440,000）です。クエン酸と CoA からアセチル CoA とオキサロ酢酸を生成する反応を触媒し、

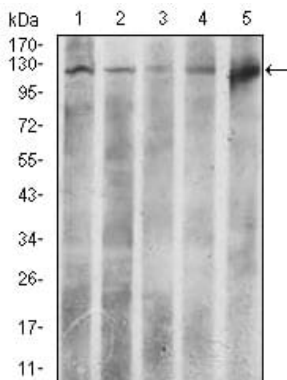
同時に ATP を ADP とリン酸へと加水分解します。生成したアセチル CoA は、脂肪生成やコレステロール生成など、いくつかの重要な生合成経路に関与しています。神経組織において、ATP クエン酸リアーゼはアセチルコリンの生合成に関与している可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが同定されています。

研究分野

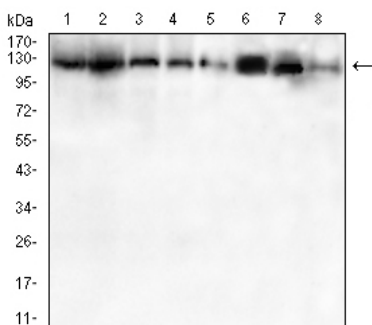
画像データ



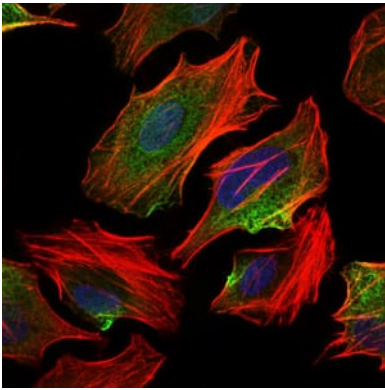
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



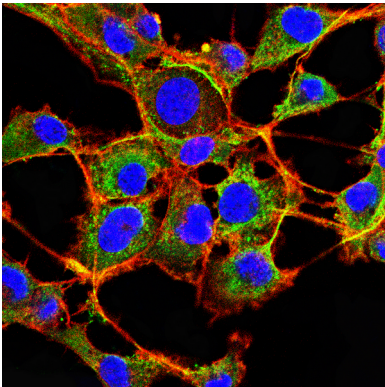
ACLY マウス mAb を用いた HeLa (1)、NIH3T3 (2)、C6 (3)、COS7 (4)、および Raji (5) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



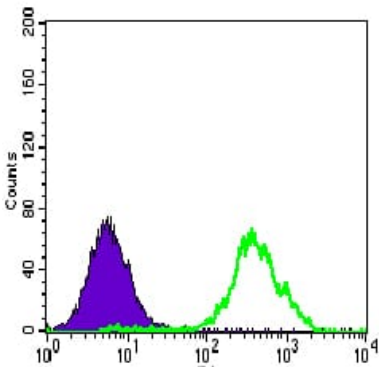
PC-12(1)Raw264.7(2)NIH/3T3(3)NRK(4)C6(5)F9(6)COS-7(7)CHO3D10(8)細胞溶解物に対する ACLY マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



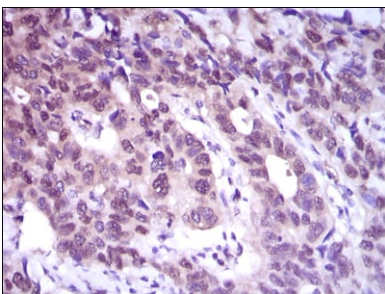
ACLY マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



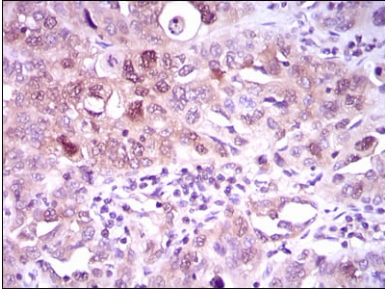
ACLY マウス mAb (緑) を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



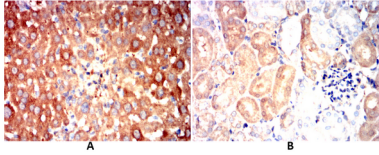
ACLY マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



ACLY マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。



ACLY マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮内膜癌組織の免疫組織化学分析。



ACLY マウス mAb と DAB 染色を用いたパラフィン包埋マウス肝臓(A)とマウス腎臓(B)の免疫組織化学分析。